

高等学校 令和8年度

教科 家庭科 科目 服飾手芸

教科：家庭科 科目：服飾手芸

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～F組

教科担当者：

使用教科書：（ 使用しない ）

使用教材：（ プリント類 ）

教科 家庭科 の目標：

【知識及び技能】 人間の将来にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を固るとともに、それらにかかわる技術を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 ささまざまな人々と協働し、地域社会に参画しようとすると共に、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 服飾手芸 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
服飾・手芸の技術を身に着け、知識を得る。	作品に応じた素材の扱い方、選び方を身に着ける。また、作品で自分のイメージを表現する方法を知る。	集中力をもって作品にのぞみ、工夫しながら最後までやり遂げる力をつける

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	服飾 デザイン画を描く カラーージュの手法を学ぶ	各項目において次の流れを基本として、計画・実施を通して目標達成を目指す。 ①計画づくり：担当教員に相談しながら ②計画の実施 ③実施の反省：次の授業に向けてノートで振り返り	【知識・技能】 ・基本的な知識が身についているか。 ・状況や役割に応じて子どもに対応できるか。 【思考・判断・表現】 ・状況に適した判断ができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自らの課題を正確に把握し、仲間とともに改善できるか	○	○	○	12	
	手芸 布バッグ制作 刺繍作品制作	各項目において次の流れを基本として、計画・実施を通して目標達成を目指す。 ①計画づくり：担当教員に相談しながら ②計画の実施 ③実施の反省：次の授業に向けてノートで振り返り	【知識・技能】 ・基本的な知識が身についているか。 ・状況や役割に応じて子どもに対応できるか。 【思考・判断・表現】 ・状況に適した判断ができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自らの課題を正確に把握し、仲間とともに改善できるか	○	○	○	14	
				○	○		0	
2 学期	手芸 編み物 基礎編み修得 かぎ編み	各項目において次の流れを基本として、計画・実施を通して 各項目において次の流れを基本として、計画・実施を通して目標達成を目指す。 ①計画づくり：担当教員に相談しながら ②計画の実施 ③実施の反省：次の授業に向けてノートで振り返り	【知識・技能】 ・基本的な知識が身についているか。 ・状況や役割に応じて子どもに対応できるか。 【思考・判断・表現】 ・状況に適した判断ができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自らの課題を正確に把握し、仲間とともに改善できるか	○	○	○	14	
	手芸 編み物 基礎編み修得 棒編み	各項目において次の流れを基本として、計画・実施を通して 各項目において次の流れを基本として、計画・実施を通して目標達成を目指す。 ①計画づくり：担当教員に相談しながら ②計画の実施 ③実施の反省：次の授業に向けてノートで振り返り	【知識・技能】 ・基本的な知識が身についているか。 ・状況や役割に応じて子どもに対応できるか。 【思考・判断・表現】 ・状況に適した判断ができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自らの課題を正確に把握し、仲間とともに改善できるか	○	○	○	14	
				○	○		0	
3 学期	作品制作 棒編み・かぎ編み・刺繍・ミシンを使用した作品の制作	各項目において次の流れを基本として、計画・実施を通して 各項目において次の流れを基本として、計画・実施を通して目標達成を目指す。 ①計画づくり：担当教員に相談しながら ②計画の実施 ③実施の反省：次の授業に向けてノートで振り返り	【知識・技能】 ・基本的な知識が身についているか。 ・状況や役割に応じて子どもに対応できるか。 【思考・判断・表現】 ・状況に適した判断ができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自らの課題を正確に把握し、仲間とともに改善できるか	○	○	○	16	
				○	○		0	
							合計	
								70